



平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月12日

上場取引所 東

上場会社名 小津産業

コード番号 7487 URL <http://www.ozu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今枝 英治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 稲葉 敏和

TEL 03-3661-9400

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第2四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	19,256	△0.1	406	9.7	423	△0.6	272	△8.9
27年5月期第2四半期	19,267	△2.6	371	7.7	425	18.8	298	37.7

(注) 包括利益 28年5月期第2四半期 571百万円 (37.9%) 27年5月期第2四半期 414百万円 (190.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第2四半期	32.52	—
27年5月期第2四半期	35.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年5月期第2四半期	21,868	13,074	59.8
27年5月期	22,042	12,627	57.3

(参考) 自己資本 28年5月期第2四半期 13,074百万円 27年5月期 12,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年5月期	—	0.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	39,000	1.5	530	20.7	550	6.8	340	△32.9	40.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページの「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年5月期2Q	8,435,225 株	27年5月期	8,435,225 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年5月期2Q	70,520 株	27年5月期	70,510 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年5月期2Q	8,364,713 株	27年5月期2Q	8,364,816 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の足取りが依然として重く、企業による設備投資や輸出も力強さを欠いているものの、政府による経済政策や企業収益、雇用情勢の改善等により、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。海外におきましては、中国経済の減速や新興国経済における成長鈍化の動きが見られましたが、雇用情勢や個人消費等の改善を背景とした米国経済の成長ペースに支えられ、緩やかな回復基調が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、革新と挑戦をテーマに、「グローバル展開の更なる推進」、「革新的新事業・新商品の創出」、「コンバーター機能の強化拡充」、「小津グループ各社の連携による事業推進」、「次世代を担う人材育成」という中長期的な経営戦略に基づき営業活動を展開してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は192億56百万円（前年同期比0.1%減）、経常利益は4億23百万円（前年同期比0.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億72百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

(不織布事業)

エレクトロニクス分野では、スマートフォン、タブレット端末用途および電装化が進む自動車関連用途の電子部品・デバイス産業向けの販売が好調を維持しており、前年同期比において売上高が微減であるものの、利益面では微増となりました。

コスメティック分野では、インバウンド消費の拡大等により国内市場向けの販売が好調であったものの、前連結会計年度において大きく数量を伸ばした中国市場向けの販売が鈍化したことにより、前年同期比において売上高、利益面ともに減少いたしました。

メディカル分野では、歯科向け商品や介護関連商品の販売が堅調であったものの、衛生材料の販売の落ち込みや顧客先における商品の在庫調整等の影響により、前年同期比において売上高、利益面ともに減少いたしました。

小津（上海）貿易有限公司では、エレクトロニクス分野向けの新規得意先向け出荷等があったものの、デジタルカメラ用途向けの出荷や前年同期に好調だったコスメティック分野向けの出荷が低調に推移し、前年同期比において売上高、利益面ともに減少いたしました。

ウェットティッシュ等の製造販売を営む株式会社ディプロでは、除菌用途の商品が好調であったものの、夏物ウェット商品や大手小売業向けのプライベートブランド商品の一部において販売が低迷し、輸入原材料のコストアップ分の価格転嫁も進まず、前年同期比において売上高がほぼ横ばい、利益面では微減となりました。

アグリ分野を担う日本プラントシーダー株式会社では、北海道地方における一部作物の播種方法変更等の影響があるものの、北関東地区における法蓮草播種テープの回復およびコーン、落花生等の大粒子テープの加工が好調に推移したことにより、前年同期比において売上高が微減であるものの、利益面では微増となりました。

これらの結果、売上高は69億81百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は3億95百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

(家庭紙・日用雑貨事業)

連結子会社のアズフィット株式会社が営む家庭紙・日用雑貨事業につきましては、消費者マインドの落ち込みや低価格志向が続いているものの、採算性を軸にした既存取引の見直しや家庭紙商品の価格修正等により利益面での改善が見られ、前年同期比において売上高がほぼ横ばいであるものの、利益面では損失額が減少いたしました。

これらの結果、売上高は122億53百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント損失は7百万円（前年同期は42百万円のセグメント損失）となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、売上高21百万円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益は11百万円（前年同期比655.0%増）となりました。

(注) 日本プラントシーダー株式会社およびアズフィット株式会社の決算期は2月末日のため、当第2四半期連結累計期間には各社の平成27年3月から平成27年8月の実績が、株式会社ディプロの決算期は3月末日のため、当第2四半期連結累計期間には同社の平成27年4月から平成27年9月の実績が反映されております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1億73百万円減少し、218億68百万円となりました。主な要因は、「投資有価証券」の増加4億40百万円、「受取手形及び売掛金」の減少6億9百万円であります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて6億19百万円減少し、87億94百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の減少5億81百万円であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて4億46百万円増加し、130億74百万円となりました。主な要因は、「その他有価証券評価差額金」の増加3億2百万円、「利益剰余金」の増加1億46百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フロー増加額が3億48百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー減少額が1億44百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー減少額が20百万円となり、当第2四半期連結会計期間末の残高は前連結会計年度末に比べ1億79百万円増加し44億10百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3億48百万円(前年同期比2億33百万円増)となりました。収入の主な内訳は、「売上債権の増減額」6億8百万円、「税金等調整前四半期純利益」4億25百万円であり、支出の主なものは、「仕入債務の増減額」5億81百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億44百万円(前年同期比1億2百万円減)となりました。支出の主なものは、「有形固定資産の取得による支出」1億33百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は20百万円(前年同期比65百万円減)となりました。収入の主なものは、「短期借入金の純増減額」1億10百万円、支出の主なものは、「配当金の支払額」1億25百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年12月22日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,543,183	4,722,798
受取手形及び売掛金	7,161,430	6,551,862
商品及び製品	1,548,592	1,427,938
原材料	420,047	446,685
繰延税金資産	72,173	54,443
その他	441,056	430,811
貸倒引当金	△12,916	△12,150
流動資産合計	14,173,567	13,622,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,075,981	5,105,558
減価償却累計額	△3,015,197	△3,081,263
建物及び構築物(純額)	2,060,784	2,024,294
機械装置及び運搬具	1,260,483	1,392,324
減価償却累計額	△1,016,934	△1,058,517
機械装置及び運搬具(純額)	243,549	333,806
土地	1,302,382	1,302,382
リース資産	81,490	28,490
減価償却累計額	△60,400	△12,739
リース資産(純額)	21,089	15,750
建設仮勘定	83,519	22,734
その他	339,538	342,504
減価償却累計額	△279,159	△287,223
その他(純額)	60,379	55,280
有形固定資産合計	3,771,705	3,754,249
無形固定資産		
その他	281,381	244,268
無形固定資産合計	281,381	244,268
投資その他の資産		
投資有価証券	3,252,120	3,692,855
長期貸付金	11,952	11,074
繰延税金資産	22,839	22,354
その他	537,710	529,561
貸倒引当金	△8,705	△7,793
投資その他の資産合計	3,815,916	4,248,053
固定資産合計	7,869,003	8,246,570
資産合計	22,042,571	21,868,960

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,625,385	4,044,261
短期借入金	860,000	970,000
1年内償還予定の社債	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
リース債務	7,651	4,077
未払法人税等	122,092	117,546
賞与引当金	48,349	53,555
役員賞与引当金	1,250	—
その他	853,422	587,195
流動負債合計	6,868,152	6,126,637
固定負債		
社債	750,000	750,000
長期借入金	820,000	820,000
リース債務	14,265	12,215
繰延税金負債	675,728	800,964
役員退職慰労引当金	135,041	—
退職給付に係る負債	101,512	108,325
その他	49,974	176,729
固定負債合計	2,546,522	2,668,234
負債合計	9,414,674	8,794,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,374,967	1,374,967
利益剰余金	8,698,180	8,844,729
自己株式	△83,146	△83,168
株主資本合計	11,312,215	11,458,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,302,360	1,605,171
為替換算調整勘定	13,320	10,174
その他の包括利益累計額合計	1,315,680	1,615,345
純資産合計	12,627,896	13,074,088
負債純資産合計	22,042,571	21,868,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
売上高	19,267,942	19,256,091
売上原価	16,302,397	16,299,487
売上総利益	2,965,545	2,956,603
販売費及び一般管理費	2,594,543	2,549,720
営業利益	371,001	406,883
営業外収益		
受取利息	1,572	1,543
受取配当金	23,636	24,918
持分法による投資利益	524	4,054
為替差益	37,124	—
その他	9,993	11,826
営業外収益合計	72,852	42,342
営業外費用		
支払利息	13,367	12,750
為替差損	—	8,595
その他	4,862	4,720
営業外費用合計	18,230	26,067
経常利益	425,623	423,158
特別利益		
固定資産売却益	—	2,126
投資有価証券売却益	—	0
保険戻戻金	14,417	—
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	58,879	—
特別利益合計	73,297	2,127
特別損失		
固定資産除却損	545	0
ゴルフ会員権評価損	150	—
特別損失合計	695	0
税金等調整前四半期純利益	498,225	425,285
法人税、住民税及び事業税	158,635	136,031
法人税等調整額	40,958	17,233
法人税等合計	199,594	153,265
四半期純利益	298,630	272,019
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	298,630	272,019

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
四半期純利益	298,630	272,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	108,931	302,810
為替換算調整勘定	7,145	△3,145
その他の包括利益合計	116,076	299,664
四半期包括利益	414,707	571,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	414,707	571,684
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	498,225	425,285
減価償却費	156,100	177,709
のれん償却額	22,055	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,017	△1,678
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,982	5,206
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,100	△1,250
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△27,072	△135,041
厚生年金基金解散損失引当金の増減額(△は減少)	△58,879	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	672	6,812
受取利息及び受取配当金	△25,209	△26,461
支払利息	13,367	12,750
為替差損益(△は益)	△35,310	3,834
持分法による投資損益(△は益)	△524	△4,054
保険返戻金	△14,417	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△2,126
有形固定資産除却損	545	0
売上債権の増減額(△は増加)	△1,053,549	608,005
たな卸資産の増減額(△は増加)	194,110	92,181
仕入債務の増減額(△は減少)	410,337	△581,039
未払消費税等の増減額(△は減少)	68,432	△79,677
その他の資産の増減額(△は増加)	82,977	17,995
その他の負債の増減額(△は減少)	42,155	△42,622
その他	821	3,175
小計	268,701	479,005
利息及び配当金の受取額	25,198	26,564
利息の支払額	△13,507	△13,211
法人税等の支払額	△165,201	△143,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	115,191	348,604
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△183,293	△133,120
有形固定資産の売却による収入	—	2,215
無形固定資産の取得による支出	△33,278	△3,890
投資有価証券の取得による支出	△11,676	△7,654
投資有価証券の売却による収入	—	1
貸付けによる支出	△60,000	△45,000
貸付金の回収による収入	51,478	41,478
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	70,000	—
保険積立金の払戻による収入	14,962	—
その他	4,939	1,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246,868	△144,461
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	110,000
自己株式の取得による支出	△214	△22
配当金の支払額	△99,703	△125,116
リース債務の返済による支出	△6,751	△5,623
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,669	△20,761
現金及び現金同等物に係る換算差額	32,279	△3,767
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△186,067	179,613
現金及び現金同等物の期首残高	3,322,403	4,231,098
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,136,335	4,410,711

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,065,663	12,183,515	19,249,179	18,763	19,267,942	—	19,267,942
セグメント間の内部売上高又は振替高	91,832	3,199	95,031	66,988	162,020	△162,020	—
計	7,157,495	12,186,715	19,344,210	85,752	19,429,963	△162,020	19,267,942
セグメント利益又は損失(△)	433,732	△42,141	391,591	1,465	393,057	△22,055	371,001

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△22,055千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,981,954	12,253,014	19,234,968	21,123	19,256,091	—	19,256,091
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,539	2,196	18,735	78,183	96,918	△96,918	—
計	6,998,493	12,255,210	19,253,704	99,306	19,353,010	△96,918	19,256,091
セグメント利益又は損失(△)	395,018	△7,322	387,695	11,066	398,762	8,121	406,883

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額8,121千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。